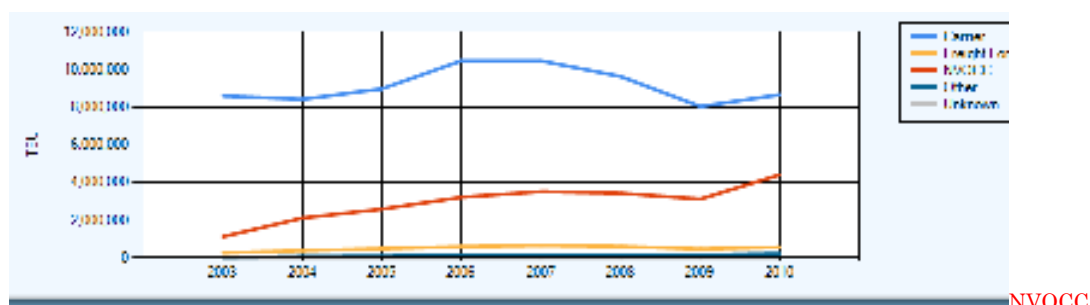


米国通関統計速報

ゼポ発表；米国向けアジア発 2010 年コンテナ 船社別シェア



Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、1月21日、米国税関 AMS・B/L データを基に、昨年の米国向けアジア発貨物(TEU)の国別実績をまとめましたが、その中、アジアの8割以上を占める4カ国(中国,韓国,香港,日本)に於ける船社別の2010年前年比とシェアは次の通りでした。

表-1 中国・積地 TEU ベース：船社別シェア () 内09 Ranking & Share

2010 順位	船社名_ Master Carriers	前年比%	シェア %
1位 (2)	Evergreen Line	20.9	9.74 (9.58)
2位 (1)	Maersk Line	11.0	9.27 (9.93)
3位 (3)	MSC (Mediterranean Shipping)	15.6	7.82 (8.04)
4位 (8)	COSCO (China Ocean Shipping)	46.8	7.57 (6.13)
5位 (5)	Hanjin Shipping	23.6	7.50 (7.21)
6位 (6)	CSCL (China Shipping Container L)	41.2	7.39 (6.22)
7位 (4)	CMDU (Compagnie Maritime DAffretement)	-3.6	6.28 (7.75)
8位 (10)	APL	36.3	6.17 (5.38)
9位 (9)	Yang Ming Marine Transport	15.5	5.59 (5.76)
10位 (12)	Hyundai Merchant Marine	33.8	5.37 (4.77)
11位 (7)	Kawasaki Kisen Kaisha	0.1	5.21 (6.20)
12位 (11)	OOCL (Orient Overseas Containers L)	-9.5	3.64 (4.77)
13位 (13)	NYK Line	-4.3	3.37 (4.19)
14位 (14)	Hapag Lloyd	0.0	3.34 (3.97)
15位 (15)	Mitsui OSK Lines	19.9	2.88 (2.85)
Top15 合計			91.14
中国合計		18.9	100
邦船3社計		3.0	11.46 (13.24)

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

表-2 韓国・積地 TEU ベース：船社別シェア () 内 09 Ranking & Share

2010 順位	船社名_ Master Carriers	前年比 %	シェア %
1 位 (1)	Hanjin Shipping	21.7	23.87 (23.40)
2 位 (2)	Hyundai Merchant Marine	23.0	14.02 (13.59)
3 位 (3)	APL	41.9	11.00 (9.24)
4 位 (5)	Maersk Line	28.6	6.49 (6.01)
5 位 (4)	COSCO (China Shipping Container L).	18.1	6.42 (6.49)
6 位 (6)	Yang Ming Marine Transport	19.4	5.63 (5.62)
7 位 (12)	Mitsui OSK Lines	66.7	4.89 (3.28)
8 位 (8)	NYK Line	2.6	3.55 (4.13)
9 位 (11)	Kawasaki Kisen Kaisha	22.9	3.38 (3.30)
10 位 (7)	Hapag Lloyd	-10.3	3.26 (4.34)
Top10 合計			82.51
韓国合計		19.3	100
邦船 3 社計		29.3	11.82 (10.71)

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

表-3 香港積地 TEU ベース：船社別シェア () 内 09 Ranking & Share

2010 順位	船社名_ Master Carriers	前年比 %	シェア %
1 位 (1)	Maersk Line	12.4	19.26 (18.55)
2 位 (2)	APL	28.3	12.35 (10.42)
3 位 (3)	Evergreen Line	2.6	8.08 (8.52)
4 位 (4)	CMDU (Compagnie Maritime DAffretement)	4.2	7.57 (7.86)
5 位 (5)	Mitsui OSK Lines	-1.8	6.18 (6.81)
6 位 (6)	NYK Line	-9.9	5.77 (6.79)
7 位 (8)	Hyundai Merchant Marine	31.4	5.63 (4.62)
8 位 (14)	Msc. Mediterranean Shipping	62.1	4.49 (3.00)
9 位 (7)	Kawasaki Kisen Kaisha	-10.5	4.44 (5.37)
10 位 (9)	Hapag Lloyd	16.7	3.98 (3.68)
Top10 合計			77.75
香港合計		8.9	100
邦船 3 社計		-2.3	16.43 (18.97)

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

表-4 日本・積地 TEU ベース:船社別シェア () 内 09 Ranking & Share

2010 順位	船社名_ Master Carriers	前年比%	シェア %
1位 (2)	NYK Line	23.4	13.80 (12.54)
2位 (1)	Kawasaki Kisen Kaisha	3.1	13.53 (14.71)
3位 (4)	Mitsui OSK Lines	49.9	12.41 (9.28)
4位 (3)	APL	2.2	9.24 (10.14)
5位 (6)	Maersk Line	34.3	9.12 (7.61)
6位 (7)	Hanjin Shipping	12.7	7.54 (7.50)
7位 (8)	OOCL(Orient Overseas Containers L)	30.3	6.44 (5.54)
8位 (9)	Westwood Shipping Lines	22.9	5.89 (5.19)
9位(10)	Hapag Lloyd	10.9	5.01 (5.05)
10位(12)	COSCO (China Ocean Shipping)	70.2	4.51 (2.97)
Top10 合計			86.58
日本合計		12.1	100
邦船3社計		22.0	39.74(36.53)

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

国別の成長率に対する、邦船3社のシェアと前期比を海外船社の実績と比較してみると2010年のアジア全体の動向が伺えます。

- アジアの約6割を占める1位の中国は全体が前年比18.9%の成長でしたが、邦船3社合計の伸び率が3%と低かったのに対して、COSCO, CSCL, APL, 現代商船、韓進海運が平均を大きく上回る伸びで、邦船3社合計のシェアは前年より約2ポイント下げて11.5%でした。中国では各社共にシェアは10%以下で横並びの競争となっています。
- 2010年に積地ベースで2位に浮上した韓国の伸びは19.3%でしたが、邦船3社の伸びは29%と合計シェアも1ポイント増えています。ただし、API, Maerskは平均を大きく上回り、韓国2社も平均よりやや高く、中国2社は平均の伸びで、それぞれのシェアを維持しています。
- 香港の伸びは8.3%と中国、韓国の成長に押さえられ、順位も3位となりましたが、邦船3社の伸びは更に下回って2.3%のマイナスで、シェアも2ポイント近く下げています、一方、MSC, 現代商船、APLが大きく伸び、シェアも2ポイント近くふやしています。

- 日本は台湾の次の5位でしたが伸びでは12.1%と台湾の8.9%を上回る中で、邦船3社は+22%と好調でシェアも3ポイントの上昇し、自国市場では約4割を占める結果となりました。ただ、伸び率ではMaersk, OOCL, Westwoodに加えてCOSCOが邦船よりも高い伸びを示しています。
- アジア10カ国の伸び率は17.7%でしたが、それを大きく上回る伸び率を示したのは次の5社でした。

1. COSCO	47.4%
2. APL	30.7%
3. 現代商船	27.3%
4. CSCL	26.9%
5. 商船三井	25.9%

アジアでのTop3位(Maersk, Evergreen, APL)の順位は前年と同じで、合計シェアは31%でしたが、4-5位に韓進海運、現代商船が続き、これら上位5社合計の東航のシェアは約2ポイント増えて47.5%になりました。その中で、邦船3社は9位日本郵船、12位川崎汽船、14位商船三井の順ですが、合計の伸び率は9.2%で全体の17.7%を下回っており、合計シェアでも、韓国2社が約2ポイント増やしたのに対して1.5ポイント減って15.2%になりました。

- 2009年から2010年へと全体が回復する中で、NVOCCの取扱量が上昇し、それまでは20%台の前半だったのが、2010年は32%を占めました。
- 尚、上記TEUベースはコンテナ総量を把握するために、空コンテナ、FROB(Freight Remaining On Board, 通過貨物)も含んでいますが、上記のトレンドは同じです。

* Note; Zepol TradeIQは、米国税関から公表されるAMS(Automated Manifest System) B/L記載データをZepol(ゼポ)が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。毎日数万件に及ぶ全米各港からのB/L情報が蓄積されており、各自パソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、速報性を追求したオンラインサービスにより、画面上でB/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEUなどの個別B/L情報のマトリックス分析が可能になっています。又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB貨物、などの区分も可能で目的に応じた分析が出来ます。

毎月、約 40 日遅れで発表される商務省統計に先立ち、前月分の米国輸入動向を翌月上旬には把握できる「一番早い米国貿易統計」として 2003 年以來、各業界で幅広く活用されております。

ただし、公式データに基づいた客観的ファクト情報ですが、AMS 記載内容を忠実にそのまま データベース化しながら一部推計しているために、もしも AMS 記録内容に誤りがあったりダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性があります。 (www.zepol.com 参照)

本件に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp